

図書館だより

江北高校図書館
第9号 2025.1

謹賀新年

今年もよろしくお祈りします

冬休み前～冬休み中に借りた本は

1/14 (火)までに忘れず返却してください

※ 返却がなかった場合は督促状を発行します。

～図書館でおみくじを引けます！～

いま図書館で本を借りると、新年のおみくじが引けます。

1/8 (水)～なくなり次第終了。

本格的なおみくじなので、ぜひ引いてみてください！

図書の紹介

『ソクラテスの弁明』 『パイドン』 プラトン

最近ちょっとしたブームになっている「チ。」特に最初の主人公ラファウ君は皆さんと同じ年ごろなので親近感があるでしょう。このラファウ君の物語のベースがプラトンの「ソクラテスの弁明」と「パイドン」という作品だと知っておくとカッコイイです。

古代ギリシア、神を冒瀆する異端者として裁判にかけられたソクラテスは堂々と自分の信念を語るが故に死刑判決が出てしまう。

ここまでが「ソクラテスの弁明」。その後、牢屋の中で仲間たちに死とは何ら恐れるものではなく、魂は不死であることを証明し毒を飲んで死んでいく、これが「パイドン」です。彼に感銘を受けたプラトンが真理を追求し学校を初めて作りその弟子だったアリストテレスが現在の学問をつくる。アリストテレスはアレクサンダー大王の教師となり世界に学問を広める。ソクラテスの死はまさに地球を動かしたのです。

cover

『神社のどうぶつ図鑑』 茂木貞純

今年巳年(へびどし)なので、へびについての本を紹介しようと思ったのですが…いい本がなかったのでこちらを紹介します。初詣に出かけた人は、コマイヌやキツネ、牛、そのほか何かしらの動物の像を見かけたのではないのでしょうか？

日本全国の神社には、さまざまな動物が飾られて(まつられて)います。それらの由来や、どの神社にどんな動物がまつられているかを学べるのがこの本です。

ちなみにへびは「再生」を象徴していたと言われています。細長く異様な姿は、人々の目にどこか神秘的に映り、古来より信仰の対象となっていたようです。

そのほか 54 種類の生き物について解説されています。なんでこの生き物を??と思うような意外な顔もたくさん。気になる人は読んでみてください！

cover